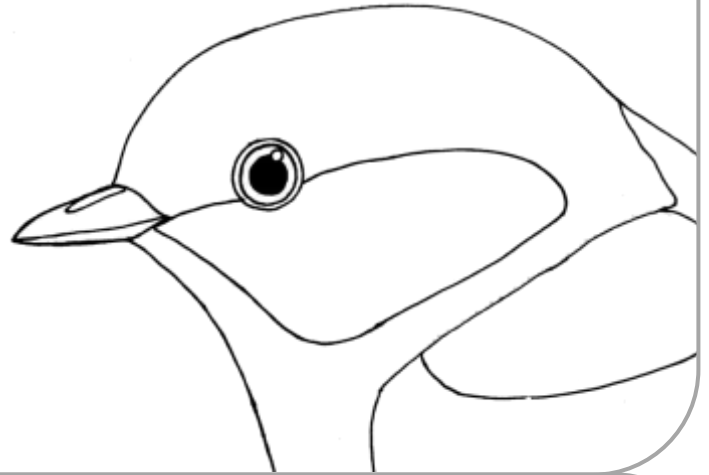


よこはましぜんかんさつ もり
横浜自然観察の森 ^{とり}鳥のくちばしと ^た食べもの <2>

ぬりえをしながらかんが、考えてみよう。このくちばしで、どんなものを ^た食べているのかな？
しぜんかんさつ もり ^{とり}鳥のなかから ^{しょうかい}紹介するよ。
自然観察の森にくらす鳥のなかから紹介するよ。

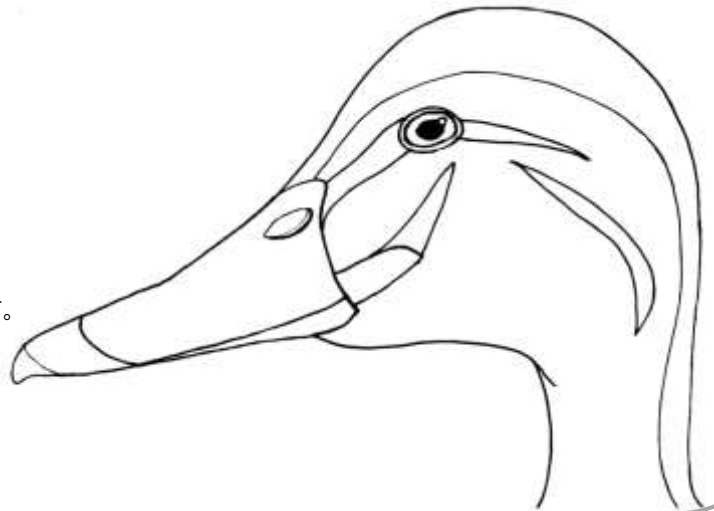
シジュウカラ

みどりの多い町なかでも見られます。
短くするどいくちばしです。
ちい ^{べんり}小さなものをつかむのに便利そうですね。



カルガモ

ミズキの谷の池や湿地にときどきやってきます。
はばが ^{ひろ}広くて ^{ひら}平たいくちばしです。
^{すいめん}水面をなでるように ^{うご}動かしたり、
^{みず}水の中に ^{なか}さしこんだりして ^{つか}使っています。



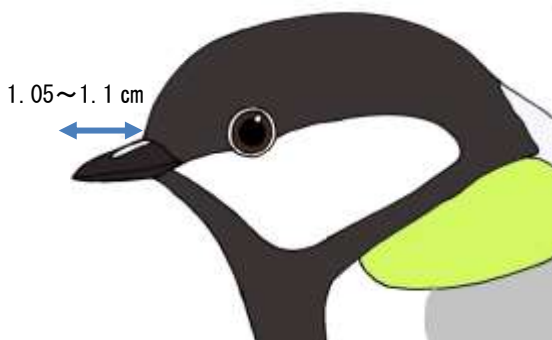
ノスリ

ふゆ ^{わた}冬になるとあらわれる ^{とり}渡り鳥です。
^{さき}先が ^ま曲がった ^{みじか}短いくちばしです。



くちばしと食べもののおはなし

くちばしの形とその鳥の食べものには、つながりがあります。
それぞれの、食べものをつかまえたり、つかんだりしやすい形をしています。



シジュウカラ

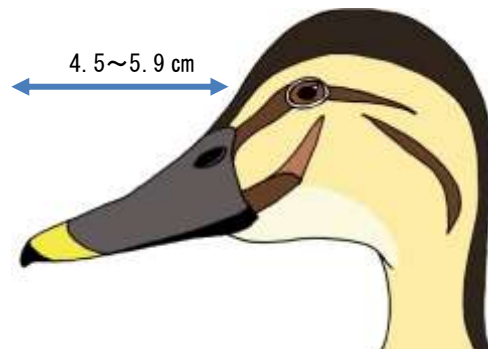
《いろのみほん》

虫、木の实、種などをつついて食べます。
木のすき間にかくれた虫や、からにつつまれた種を器用に取り出します。



◎にたくちばしを持つ鳥：
ヤマガラなど

イモムシを木の枝にたたきつけ、弱らせてから食べます。



カルガモ

《いろのみほん》

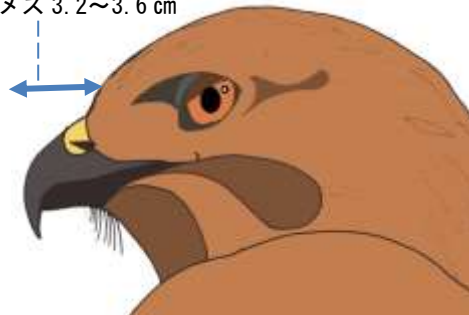
水の中にすむ虫、水草、草の種や実など、
水の中や水に浮いた食べものをすくいとって食べます。



◎にたくちばしを持つ鳥：
オシドリなど

湿地の水をくちばしでかき回しています。
オタマジャクシやタニシを食べているようです。

オス 2.9~3.2 cm
メス 3.2~3.6 cm



ノスリ

《いろのみほん》

ネズミ、小鳥、ヘビ、トカゲ、虫などを引きさいて食べます。

◎にたくちばしを持つ鳥：トビ、モズなど



ミスキの谷で、つかまえたオオカマキリを食べています。

●鳥には「よくかんで食べよう」ができません。

鳥のくちばしには私たちのような歯はありません。そのまま飲みこんでしまいます。飲みこんだあと、「さのう」という、筋肉でできた器官で、食べものをすりつぶしています。

おうちでさがしてみよう！

「くちばし」みたいな身近な道具

お料理につかう「穴あきおたま」の役割は、カルガモのくちばしに、にているね。お湯や汁の中から、臭だけすくい取るのにべんりです。



カルガモは川や池で泳ぎながら、くちばしを水の表面や中で動かして、探ります。水の中から、食べものだけをすくいとって口に入れます。